



図1 譜久山病院ホームページ

なく(ていい)の時期

そのおもしろみのないHPでも、診察時間の開始や担当医師についての電話問い合わせが減り、事務スタッフの負担軽減にはつながったと思います(算定不能ですが)。

06年、ホームページの制作・管理会社、ウェブ代表の鎌野氏に協力していただき、新しいイメージのHPを創ることとしました。その際のコンセプトとして、病院発信の情報を楽しみにできる(でも、費用は安い)ことを条件に検討を行いました。どんなにカッコよいHPであっても「一度見て満足」のHPはいらないのです。

一生に何度か泊まりに行く高級旅館やホテルのHPと違い、病院の場合は(できれば)毎日でも遊びに来てもらえるHPがいいと思っていました。

では、どうすればリーダーを増やせるか。簡単に自分たちで更新ができるシステムと明日に続く内容を工夫しようと考えまし

た。そこで、当時一般化しつつあったブログに着目し、HPにリンクさせました。

以前より弟がアップしていたブログ「譜久山仁の第3診察室」がありました。それに加えて私自身も「陽気なインチョが病院をまわる」(改題し現在は「陽気なインチョの日常と回診」です)をアップしました。さらには各部署が忙しい業務の傍ら、それぞれの部署ブログで特徴ある話題を提供してもらっています。

広報の取り組みですが、名刺に顔写真とブログのQRコードを印刷しました。名刺をお渡しした方には、「譜久山剛ってどんな人間だろう」、「譜久山病院とはどんな病院だろう」というご興味を持っていただいたようです。

HPを見て、遠方からも当院の治療を希望して来られる患者様が増えてまいりました。また、先にHPを読まれた方は基礎知識を持って来院されるため、一般的な説明が簡略化でき、その方の病状についてもっと詳しく時間をかけることができます。単なる集患ではなく、治療の質を上げていくことにつながります。

まだできていないこと、したいこと

- ・HP上と紙ベースの情報発信を組み合わせたいこと

どんなにコンピュータが進化しても勝てないものがあります。口コミと紙媒体です。現在、デイケアのみ月刊でニュースレターを発行しています。利用者の方や周辺の医療機関

の方々にもお渡ししていますが、おかげさまでご好評をいただいております。これからは、病院全体として定期的に発行する紙媒体の情報発信を組み合わせるようにしていきたいと考えています。

- ・スタッフの求人につながるHPを作ること

先にも書きました「集客」は患者様に来てもらうことも1つの目的ですが、HPを通じて優秀な人材に来てもらえるような取り組みをしていこうと思っております。

- ・法人の考え方をHPを通じて内外に発信すること

医仁会の最終的な目的は、「健康的で明るく豊かな地域社会作り貢献すること」です。そのために必要なスタッフ、設備投資を行うこと、日々の臨床・研鑽を真摯に行うこと、そしてHPやニュースレター、地域の医療機関にも参加していただいている年4回の公開勉強会を通して医療・介護・福祉に対する正しい知識を地域に発信し、地域社会に必要とされる医療機関でありたいと願っております。

雑多な内容をお読みいただき、ありがとうございます。この拙文がみなさまの病院の広報に役立てば幸いに存じます。

※ ※

譜久山剛(ふくやま・つよし) ●70年兵庫県生まれ。94年長崎大医卒。95年神戸大医学部第一外科入局。兵庫県立姫路循環器病センター、大阪府済生会中津病院、国立神戸病院勤務を経て、01年より医療法人社団医仁会譜久山病院勤務。04年に院長就任。現在に至る。